

設計演習 II A

06 住宅設計

[担当教員]

山崎寿一（教授）山口秀文（助教）

深川礼子（ofa）島田陽（島田陽建築設計事務所）山隈直人（kt一級建築士事務所）

[Teaching Assistant]

松井優香（A67）山田千彬（A67）中倉俊（A67）

開講年次：学部2年生第3クオーター

住宅課題：開かれた家

設計課題のテーマは「開かれた家」とする。住宅は家族だけで住み、生活をするだけの器なのか。従来型の住宅パラダイムにとらわれない新しい住宅を構想して提案してほしい。コミュニティカフェを併設した住宅、ワークスペースを備えた住宅、他者と住まうシェアハウジング（但し、家主が居住していること）など、社会や地域への開き方を各自で想定する。居住者構成やライフスタイルは設計条件として、各自が具体的に設定する。

■居住者構成とライフスタイル等の基本要件

居住者構成、居住者のライフスタイル、住宅設計の基本条件は各自で設定する。単身や親族以外の同居も可とする。居住者構成とライフスタイルに応じた空間構成や周辺環境を活かした設計を行う。

■敷地：選択制とする。

- ・敷地 A (160 m²): 八幡神社の南側、参道沿い。
- ・敷地 B (300 m²): 阪神・淡路大震災土地区画整理事業区域内。北側に六甲道北公園。

■構造・階数

自由に想定してよい。

■用途地域

- ・敷地 A (160 m²): 第1種中高層住居専用地域（建蔽率60%、容積率: 200%）
- ・敷地 B (300 m²): 第1種住居地域（建蔽率60%、容積率: 200%）

■所要室等

標準家族のための専用住居として必要な室だけに留まらず、家族以外の者による居住や利用等、新たな暮らしへの提案も含むものが望ましい。

■提出物・用紙

- (1) 所用図面

1 配置図兼1階平面図 1:100

2 各階平面図 1:100

3 立面図 1:100

4 断面図 1:100

5 模型写真

6 外観スケッチ、透視図

7 設計主旨・面積表

- (2) 用紙:A2版ケント紙（仕上げ、彩色等自由）

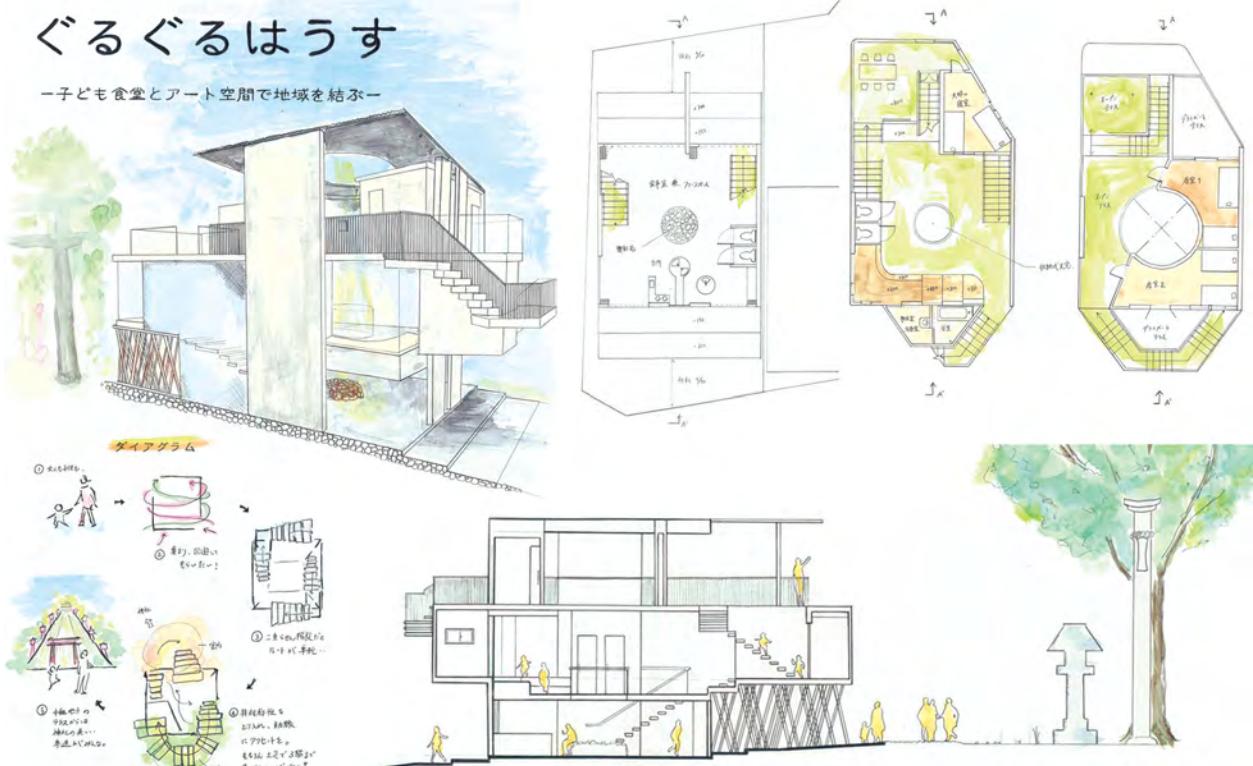


課題；敷地

ぐるぐるはうす 一子供食堂とアート空間で地域を結ぶー

松岡絢加

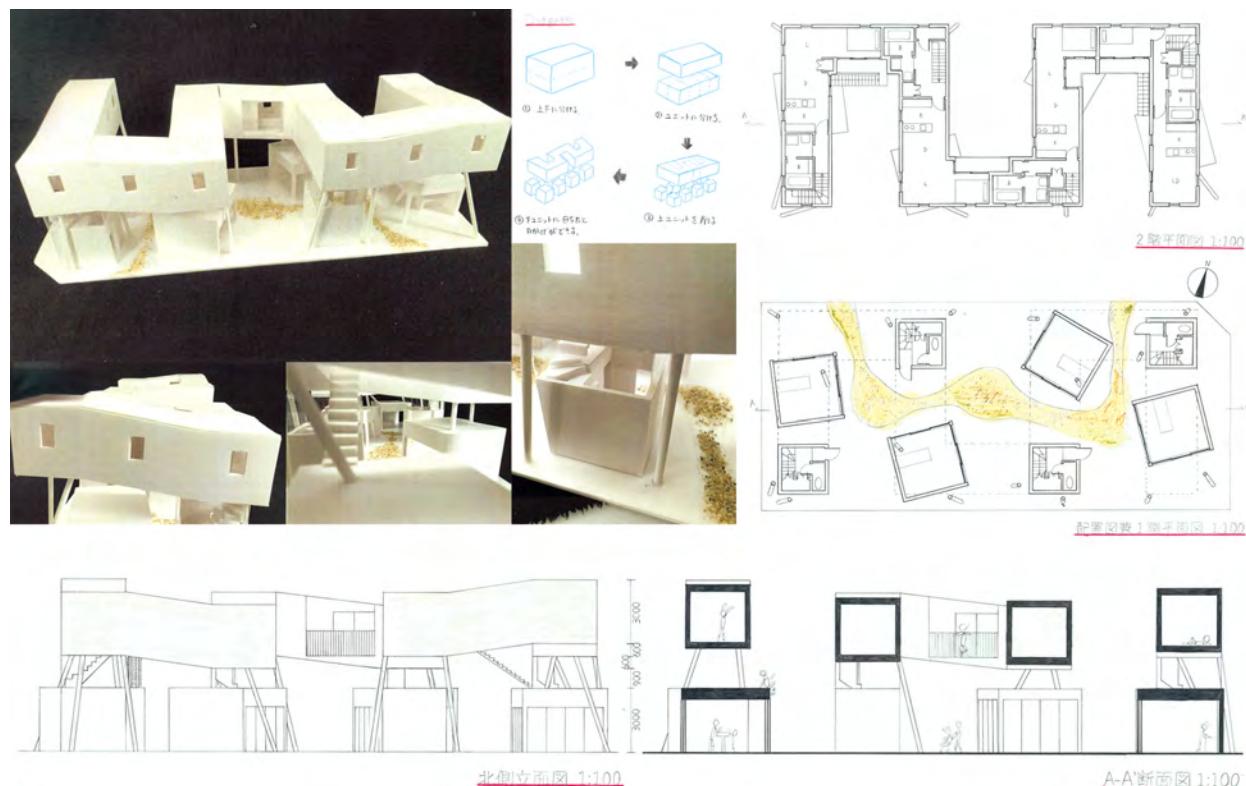
月に数回子供食堂を運営する老夫婦の住居。一階はピロティ空間で、続く階段で土足のまま最上階まで登ることが可能。階段は建物を囲うように2種存在し、来た道を戻らずとも建物内部を周遊できる。視界が目眩く変化する、ぐるぐる階段は子供も大人も楽しめる。



小店街

本山有貴

各戸の1階部分に住人専用である正方形型の店舗スペースが設けられており、それらが連なることで小道が生まれ小さな商店街を形成する。見る角度により表情を変える2階ボリュームは、小店街にかかる「大きな屋根」としての機能も果たしている。



ハウスステージ

米光葵

4人組アイドルグループの共同住居兼ライブハウス。ステージがあることで自然と人を巻き込みながら、六甲の町をハッピーにしていく。3m×3m×10m のコの字型のユニットを切ったりはったりして、住人も、参道から立ち寄る人も、ハッピーになる空間を作った。

